

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2009年12月)

発表日2010年2月17日(水)

～2ヶ月連続の悪化～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 小杉 晃子  
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		第3次産業活動指数												
				電気・ガス・ 熱供給・水 道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品 賃貸業	宿泊業・飲食 サービス業	医療、福祉	生活関連 サービス・娯 楽業	学術研究・専 門・技術サー ビス業	
		前期比	前年比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	
08	4-6月	▲0.4	▲0.5	▲1.9	2.1	▲0.4	▲0.4	▲0.3	▲0.1	▲0.3	0.7	▲1.6	▲0.9	
	7-9月	▲0.9	▲1.2	▲0.1	▲1.0	▲1.4	▲1.2	▲1.1	▲0.6	▲0.6	0.4	0.1	▲1.7	
	10-12月	▲1.7	▲3.0	▲0.9	▲0.3	▲2.2	▲3.5	▲2.4	▲0.9	▲0.2	0.3	▲1.0	▲2.4	
09	1-3月	▲3.1	▲6.5	▲4.2	▲2.1	▲3.4	▲8.6	▲1.8	0.5	▲3.4	1.2	▲1.0	▲1.0	
	4-6月	▲0.7	▲6.3	▲0.4	2.1	▲1.4	▲2.4	2.8	▲0.5	0.2	0.9	▲0.7	▲1.8	
	7-9月	0.5	▲5.0	▲1.5	▲2.7	1.1	2.4	▲1.4	▲0.1	▲0.4	0.9	0.4	7.3	
	10-12月	▲0.2	▲3.6	4.6	2.2	1.4	▲0.8	▲0.1	▲0.1	0.8	0.0	▲1.6	▲4.7	
08	4月	0.2	0.5	0.1	4.2	▲0.3	0.2	0.5	0.2	▲0.6	0.3	▲0.9	1.0	
	5月	▲0.2	▲0.7	0.5	▲0.5	0.1	0.0	▲0.2	▲0.2	0.3	0.6	0.0	▲2.9	
	6月	▲0.6	▲1.2	▲1.8	▲0.3	▲0.9	▲1.0	0.6	0.0	0.0	▲0.3	▲1.1	▲0.7	
	7月	0.3	0.2	3.3	▲0.5	0.2	1.6	▲1.1	▲0.4	0.1	0.3	1.8	▲0.2	
	8月	▲0.9	▲2.8	▲4.2	0.6	▲2.0	▲2.6	▲0.1	0.0	▲1.0	▲0.2	▲1.8	0.1	
	9月	▲0.3	▲1.0	1.7	▲1.8	1.0	▲1.0	▲0.8	▲0.3	▲0.3	0.7	0.6	▲0.1	
	10月	0.0	▲1.6	0.4	1.0	▲0.5	0.2	▲0.4	▲0.5	▲0.1	▲0.1	▲1.5	▲0.5	
	11月	▲0.9	▲4.2	0.6	0.0	▲1.1	▲1.6	▲1.6	▲0.6	0.7	0.1	0.9	▲3.1	
	12月	▲1.7	▲3.3	▲3.8	▲0.8	▲2.9	▲3.5	▲0.9	0.6	0.2	▲0.3	0.5	0.4	
	09	1月	0.5	▲4.3	0.0	1.8	0.9	▲0.1	▲1.2	0.6	▲3.3	2.2	▲1.9	0.0
		2月	▲2.0	▲7.3	▲2.5	▲0.9	▲3.0	▲5.2	0.0	0.0	▲1.5	▲2.0	2.1	▲2.1
		3月	▲2.7	▲7.7	▲0.3	▲8.2	▲0.3	▲7.1	1.7	▲0.9	1.4	1.7	▲3.2	3.3
4月		2.0	▲6.3	▲0.2	8.2	▲0.3	4.0	2.1	0.1	0.1	0.8	1.5	▲1.3	
5月		▲0.4	▲7.3	1.8	1.6	▲0.1	0.9	▲1.5	0.0	1.1	▲1.4	▲1.0	▲5.5	
6月		0.2	▲5.3	▲1.1	▲2.2	0.8	▲0.6	1.4	▲0.1	▲2.9	1.8	0.0	5.6	
7月		0.5	▲5.5	▲1.0	1.0	0.4	3.1	▲2.3	▲0.4	1.5	▲0.6	0.5	0.5	
8月		0.3	▲4.4	▲0.8	▲1.9	▲0.4	▲0.8	2.2	0.4	▲2.0	0.7	▲0.2	5.7	
9月		▲0.5	▲5.0	0.7	▲4.8	1.2	▲0.2	▲2.7	0.3	3.2	0.6	1.2	3.3	
10月		0.4	▲4.7	3.3	5.7	0.8	0.6	0.5	▲0.4	▲0.2	▲0.3	▲3.1	▲6.3	
11月		▲0.1	▲3.1	1.5	0.8	▲0.1	▲0.7	0.8	0.5	▲2.4	▲0.6	0.6	▲1.1	
12月		▲0.9	▲2.8	0.0	0.5	▲0.2	▲1.3	▲0.3	▲0.9	2.3	0.1	1.2	▲4.4	

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

## ○第3次産業活動指数：前月比▲0.9%

12月の第3次産業活動指数は前月比▲0.9%と、コンセンサス(同:▲0.2%、レンジ:同▲1.1%～+0.4%)を下回る結果となった。2ヶ月連続の悪化となり、10-12月期の結果も前期比▲0.2%と、7-9月期の前期比+0.5%から再びマイナスに転じた。第3次産業活動指数はこのところ改善が足踏み状態にある。商品販売の不振や設備投資の低迷などを背景に企業部門の改善が一服したことに加え、内需低迷を受けて家計部門も弱い動きが続いていることが2ヶ月連続の悪化につながったと考えられる。

主要13業種のうち、プラスに寄与した業種は宿泊業、飲食サービス業(前月比寄与度+0.12%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同+0.06%ポイント)、情報通信業(同+0.05%ポイント)、医療、福祉(同+0.01%ポイント)、学習支援業(同+0.01%ポイント)の5業種、マイナスに寄与した業種は卸売業、小売業(同▲0.33%ポイント)、学術研究、専門・技術サービス業(同▲0.24%ポイント)、不動産業、物品賃貸業(同▲0.08%ポイント)、金融業、保険業(同▲0.03%ポイント)、運輸業、郵便業(同▲0.02%ポイント)のなどの7業種、電気・ガス・熱供給・水道業は横ばいであった。

## ○家計部門は改善、企業部門は悪化

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門が

<sup>1</sup> 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、飲食サービス・宿泊業、医療・福祉、学習

前月比+0.4%、企業部門<sup>2</sup>が同▲1.7%であった。家計部門は、セール前倒しやクリスマス、年末商戦の影響などにより小売業が改善したことなどから、3ヶ月ぶりに前月比プラスとなった。

一方、企業部門は、繊維・衣服等、飲食料品卸売業を中心に卸売業の悪化が継続していることに加え、設備投資の低迷を受けて学術研究、専門・技術サービス業や物品賃貸業、自動車賃貸業などの活動が悪化したため、2ヶ月連続のマイナスとなった。

### ○先行き持ち直しペースは緩慢なものとなる公算大

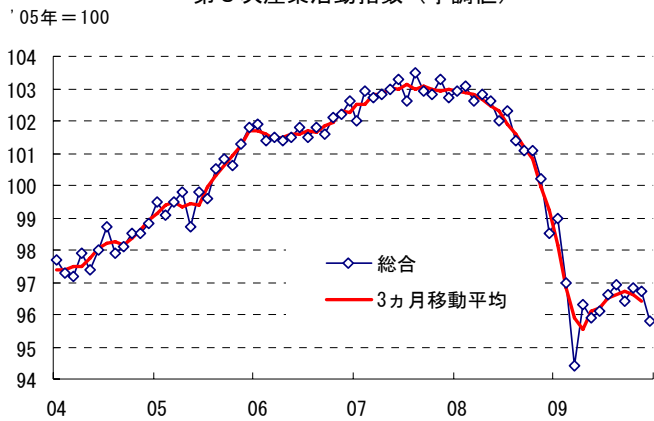
第3次産業活動指数は、企業部門の改善が一服したことに加え、家計部門の弱さから10-12月期は2四半期ぶりのマイナスとなったが、これまでに比べるとマイナス幅は小幅に留まっており、均してみれば緩やかな持ち直しが継続しているといえよう。

先行きについて、家計部門は、厳しい雇用、所得環境が続く中、景気対策による押し上げ効果も一巡しつつあることから、弱めの動きが続くと見込まれる。実際、足もとでは消費者マインドの改善が一服しており、今後も個人消費の減速感が強まっていくことで先行き家計部門の活動は抑制される可能性が高い。

他方、企業部門については、①中国を中心とした海外経済の順調な回復から輸出は引き続き高い伸びを維持するとみられること、②設備投資は緩やかに持ち直す可能性があること、などを考慮すると、今後は緩やかながらも改善していくと思われる。

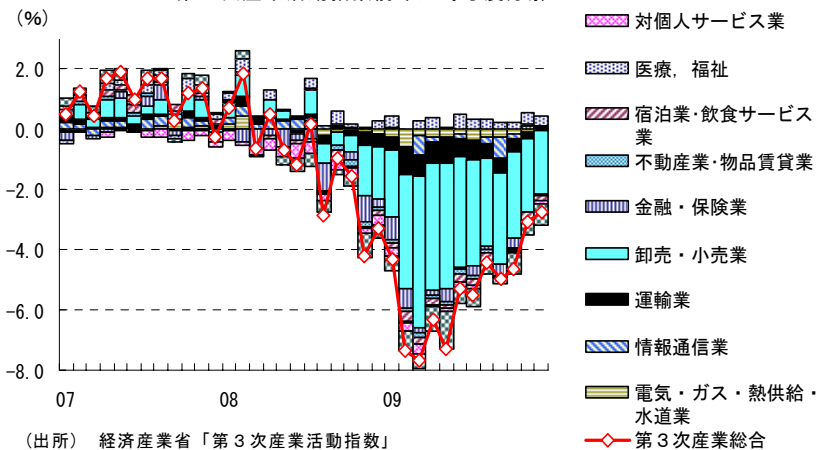
以上を踏まえると、先行き第3次産業活動指数は、企業部門の改善ペースの鈍化によって、持ち直しペースは緩慢なものとなる公算が大きい。

第3次産業活動指数（季調値）



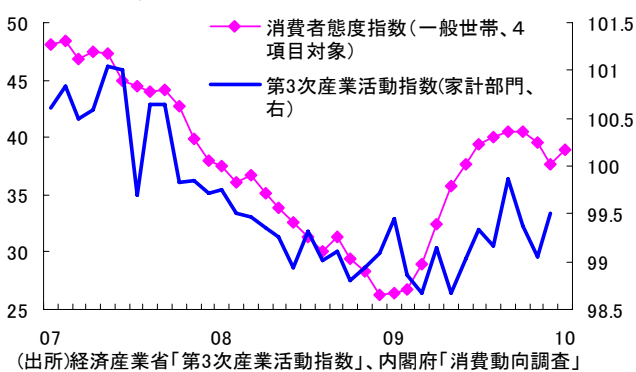
(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

第3次産業活動指数前年比寄与度分解



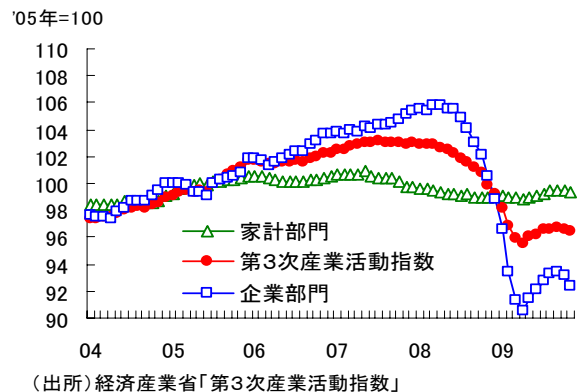
(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

消費者マインドと家計部門活動指数の推移



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」、内閣府「消費動向調査」

部門別3ヶ月移動平均の推移



(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

支援業、生活関連サービス・娯楽業

<sup>2</sup> 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業